

科目名(Subject)	労務管理特論 (Human Resource Management and Labor Relations)		
単位数(Credits)	2 単位	開講時期	前期
担当教員名 (Name)	金 鎔基 (Kim, Yongki)	研究室番号 (Office)	519
Office Hours	メールで予約をとる。 kim@res.otaru-uc.ac.jp		
1. 授業目的・方法(Course objective and method)			
<p>本授業では、まず人材管理の基本理論と、いわば日本の雇用慣行にかかわる主な 이슈を総括したうえで、日本企業にとって近年のホットな課題とされるグローバル人材マネジメント（ビジネスのグローバル化に対応した人材マネジメント）、ダイバーシティ・マネジメント（女性雇用など労働力の多様化、雇用形態の多様化に対応した人材マネジメント）の現状と課題を分析的に検討する。具体的なテーマに沿って最新の研究成果を検討することによって、人的資源管理の各領域に対する理解を深めるとともに、実証分析の多様な方法に馴染むことが目的である。</p>			
2. 達成目標(Course Goals)			
<p>人材管理の基本理論を一通り整理する。 雇用慣行の国際比較、日本の特徴をめぐる諸論点を要約できる。 ダイバーシティ・マネジメントの総論と各論ごとに近年の研究動向を理解する。 グローバル人材マネジメントの研究動向を理解する。 グローバル人材市場における日本企業の立ち位置と課題を理解する。 人材管理分野の実証方法や基礎データの概要を理解する。</p>			
3. 授業内容(Course contents)			
<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション、労務管理論の対象領域 2. 内部労働市場型のキャリア（小池 1～3 章） 3. 長期雇用と年功賃金（小池 4～6 章） 4. 中小企業労働者のキャリア（小池 7 章、その他指定テキスト） 5. 女性雇用（小池 8 章、その他指定テキスト） 6. 高齢者雇用（小池 9 章、その他指定テキスト） 7. 海外の日系企業（小池 10 章、その他指定テキスト） 8. 多国籍企業の内部労働市場（白木の序章～2 章） 9. グローバル人材マネジメントの国際比較 1（白木 3～4 章） 10. グローバル人材マネジメントの国際比較 2（白木 5～終章） 11. 現地化とグローバル統合（古沢の序章～2 章） 12. 日系企業の現地化問題（古沢 3～5 章） 13. グローバル人材マネジメントの国際比較 3（古沢 6 章） 14. グローバル人材マネジメントの国際比較 4（古沢 7 章） 15. 日本企業の留学生採用と人材管理（指定テキスト） 			
4. 事前学修・事後学修(Preparation and review)			

- ①受講者は事前にテキストを熟読し、毎回要約レジюмеを作成し発表（10分）する。受講者が複数の場合は輪番で担当する。
- ②事前熟読の際は、難解な用語のチェック（ネット検索など）、内容に関する質問とコメントをメモしておき授業にのぞむ。
- ③毎回授業の終盤に、受講者各自の研究関心に沿って、授業内容からの示唆や論点をめぐるディスカッションを行う。授業終了後、その内容をショットレポートにまとめ次回に提出する。

5. 使用教材(Teaching materials)

小池和男『仕事の経済学』第3版（東洋経済新報社、2005年）
古沢昌之『グローバル人的資源管理論』（白桃書房、2008年）
村上由紀子『人材の国際移動とイノベーション』（NTT出版、2015年）
その他指定テキストについては、オリエンテーションのときに知らせる。

6. 成績評価の方法(Grading)

出席率 30%
レジюме作成と発表 20%
授業中の質問とディスカッション貢献度 30%
ショットレポート 20%

7. 成績評価の基準(Grading Criteria)

秀（100～90）：個別文献の内容を十分理解したうえで、複数の文献を絡ませつつ論点を整理し、さらに自らの関心に引き付けて論点の再構築を試みる。
優（89～80）：個別文献の内容を十分理解したうえで、複数の文献を絡ませつつ、類似点と対立点を整理できる。
良（79～70）：個別文献の内容を十分理解している。
可（69～60）：個別文献の主要内容を理解している。
不可（59～0）：個別文献の主要内容を理解していない。

8. 履修上の注意事項(Remarks)

受講者数が少ない場合は、受講者の研究関心を反映して授業内容を多少変更することもありうる。また英語による授業を望む受講者に対応できる場合もあるので、メールによる事前相談が望ましい。

Taking this class in English is available sometimes. Don't hesitate to contact me in advance by e-mail.

<kim@res.otaru-uc.ac.jp>